

実践例4 がんばりタイム、がんばりベルトの設定により意欲の向上をめざす体を動かす遊び

大阪市立城東幼稚園（大阪府）

幼児数：168名 職員数：12名（平成27年1月28日現在）



●自由に選べるサーキット遊び（3・4歳児）

自主性を活かしたサーキット遊び

“好きなコースを自由に選んで遊べるよ。今日はなにをしようかな？”

特徴1

子供の自主性を尊重したコース設定

サーキットコースの設計は5歳児が話し合って決めたものです。遊びながら出てくる、「こうしたい、ああしたい」という声を取り入れることで、どんどん発展していきます。

特徴2

手作り遊具の活用

サーキットコースにある遊具の多くは、牛乳パックやペットボトル、新聞紙や合成繊維製の平テープなどを使い、手作りしています。踏んでもけがをしにくい、倒してもすぐに戻せる、壊れても修理が簡単など、さまざまなメリットがあります。

特徴3

気分を高める雰囲気づくり

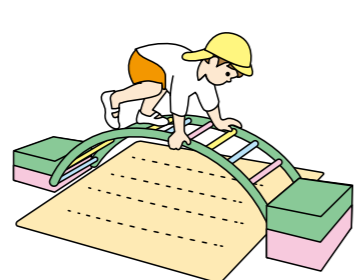
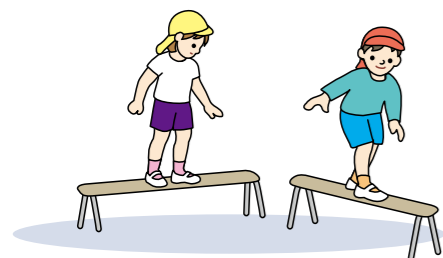
ダンスエリアには、ピンクや緑、紫やオレンジなど、いろいろな色のビニール袋で作った上着やスカートの衣装が用意されています。また、ポンポンや鳴子、マイクなどもあり、ダンスの気分をさらに高める雰囲気づくりが行われています。

P ポイント:

- ・遊ぶコースは自由に選んでも、進む方向は一方通行であることを最初に確実に伝え、子供同士がぶつかる事故を防ぎましょう。
- ・太鼓橋の下や横にはマットを敷き、落ちててもけがをしないよう配慮しましょう。

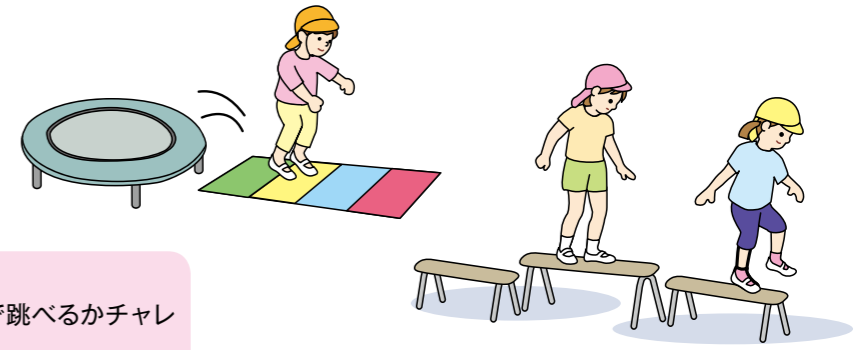
サーキットコース1

遊びの例：2台並べた一本橋を渡り、太鼓橋を上り下りして、ケンケンをします。



サーキットコース2

遊びの例：トランポリンを使ってマットへ跳び、高低をつけた一本橋を渡ります。

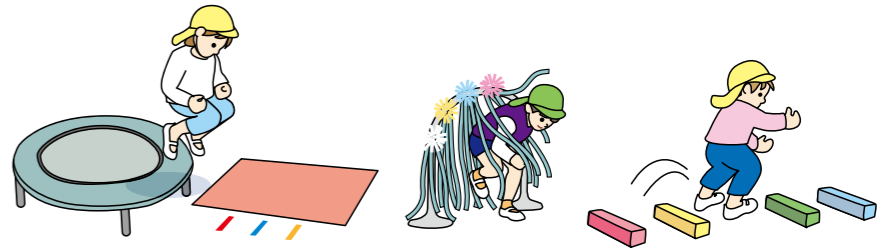


P

ポイント：
マットを色分けすることで、どこまで跳べるかチャレンジすることができます。

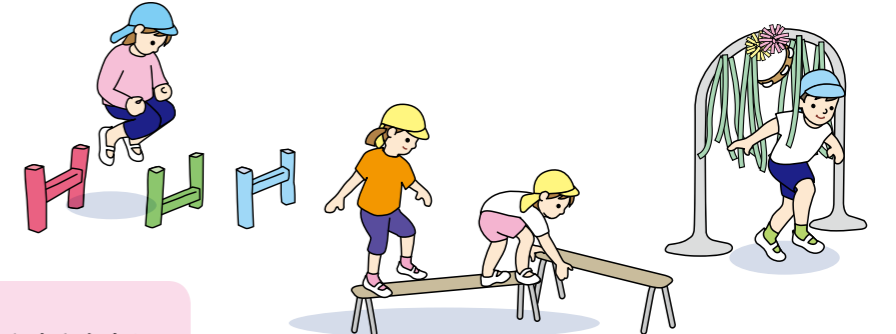
サーキットコース3

遊びの例：トランポリンを使ってマットへ跳び、合成繊維製の平テープを裂いて垂らした輪をくぐり抜け、並べた牛乳パックを跳び越えます。



サーキットコース4

遊びの例：牛乳パックをHの字に組み合わせたハードルを跳び越え、一本橋を渡り、アーチの上部に取り付けたタンバリンを叩きます。

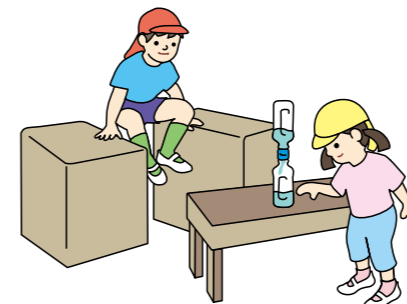


P

ポイント：
牛乳パックのハードルはひっくり返すと高さを変えることができます。

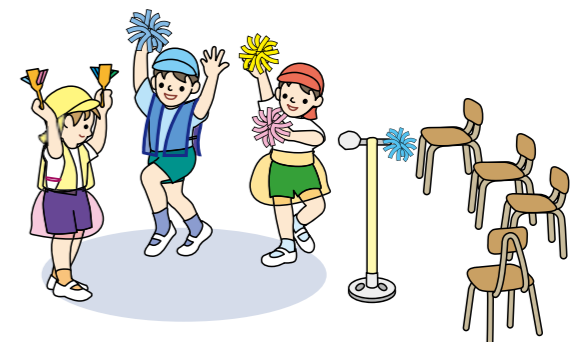
がんばりくらべ

遊びの例：2台の跳び箱に手を着き、足を浮かせて手だけでどれだけがんばれるかを競います。時間は手作りのペットボトルスライム時計で計ります。



ダンスエリア

遊びの例：衣装やポンポン、鳴子を身に付け、CDから流れる音楽に合わせて思い思いに体を動かします。観客席も用意されているので、遊び疲れたらここで一休みすることもできます。



●ビニールクッションボール投げ(5歳児)

“みんなで決めたルール。守って遊ぶと、もっと楽しいね。”

遊びの例：

- 1) 2チームに分け、中央の線に沿って同じ数だけボールを並べます。
- 2) 笛が鳴ったら自分の陣地のボールを取り、相手チームの陣地に投げ入れます。
- 3) 時間はペットボトルスライム時計で計ります。落ちきったら保育者が笛を吹いて終了です。
- 4) 自分の陣地にボールが少ない方が勝ちとなります。



ペットボトルスライム時計の作り方

用意するもの：PVA 配合洗濯のり、水、食紅（絵の具でも可）、ホウ砂、空のペットボトル2本、ビニールテープ、（お好みで）ビーズ、スパンコール等

作り方：

- 1) 水にホウ砂を入れて溶かし、ホウ砂飽和水溶液を作ります。
- 2) ペットボトルに水を入れ、そこに好きな色の食紅を入れて溶けるまで混ぜ、同量程度の洗濯のりを入れてさらによく混ぜます。この時にビーズやスパンコールを入れてもいいでしょう。
- 3) そこに作っておいたホウ砂飽和水溶液を入れ、素早く混ぜます。均等に固まるよう、しっかりと混ぜましょう。
- 4) ちょうどいい粘りになったら、ペットボトルの口と口をつなげ、ビニールテープを外れないようにしっかりと巻き付けてとめます。



P

ポイント：

- ・口に入れないよう注意し、手に付いた場合は水で洗い流しましょう。
- ・水と洗濯のりの比率を変えることで、早く落ちたり、ゆっくり落ちたりします。工夫してみてください。

繰り返し楽しく遊ぶために工夫していること

がんばりタイムの設定

城東幼稚園では、体を動かす遊びの時間を『がんばりタイム』と名付け、子供が「これからがんばるぞ!」という意欲がもてるよう工夫しています。

がんばりベルトの着用

『がんばりタイム』に臨む際には、手首にキラキラした『がんばりベルト』を付けます。体を動かす遊びの中で、子供一人ひとりが決めた目標がクリアできたら、『がんばりベルト』にシールを貼ります。



がんばりタイム



がんばりベルト

保育者の声

- ・手作り遊具は、子供の実態に合わせて自分たちで考えて作れるということが一番のメリットです。一度でうまくいなくても、子供の遊ぶ姿を見て、試行錯誤しながら取り組んでみてください。
- ・同じ年齢の子供だけでなく、他の年齢の子供と一緒に遊ぶことで、年下の子供には刺激が増え、年上の子供には年下をいたわる気持ちが生まれます。
- ・遊びの前後に発表の時間を設け、意見を言い合うことで、遊び以外のことでもみんなで相談したり、一緒に力を合わせてなにかをやりとげる気持ちが芽生えます。